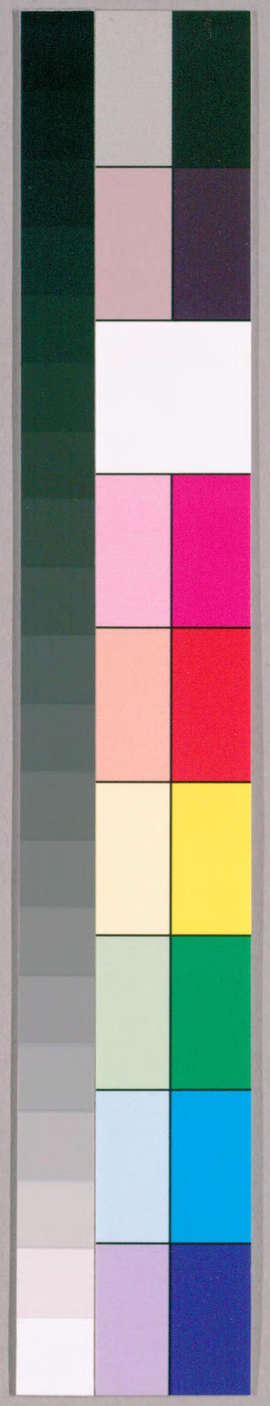
806
98



国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

明和元甲申年
文化九申年

永代渡船

荒 十三棚

806
98

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

永代橋渡船

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

明和元申年十二月廿二日

永代橋本橋掛ケ有引残取繕ニ付一件

清水八郎兵衛扣

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

右橋懸り番

口 藤右衛門

口 新右衛門

口 利左衛門

口 助之丞

口 条内

口 市郎治

口 佐々部紙屋代
藤右衛門

一 当方元禄九年ニ永代橋掛ケ候
節二月六日焼失致し、其御座
方元船之通所付舟渡ニて往来

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

私共請負所者永代橋西ヶ年以前二月當

焼失以来之節私共取之通り往来船

渡ニ而往来致候處風雨之節渡舟難

儀ニ付　私共ゟ願り橋臺舟橋之通

渡銭壱錢宛受取候處右ニ付願之　永橋相

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』 請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

収付の
筆跡亀鹿字

右京大夫殿御名字
八月十三日
中浚

永代稽古ニ頂人丸

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98
ガラス使用

永代橋掛り

深川元加町

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

寛政元酉年十二月
初鹿野河内守様ゟ御尋被成候ニ付御書上ル

新大橋永代橋渡銭之儀御尋ニ付申上候書付

三宅

右役
旧　清水八郎兵衛
家城善之丞

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

一 享保六丑年十ケ年之間渡船九艘
河内屋孫兵衛二艘ニ而渡之
御番所江御断申上候

一 享保十巳年手形七ケ年之間御請年
河内屋孫兵衛渡船九艘御請負ニ而渡船
致 御手形

一 天和三亥年同年之間渡船之
御手形

一 元文元辰年八月ゟ十ケ年之間渡船九艘
之趣 御手形

一 延享三寅年八月ゟ五ケ年十ケ年之間渡船九艘
之趣 御手形

一 寛延三午年 神田川渡請負佐兵衛仰付候之

一 渡銭之儀ニ付 御尋ニ付

但宝暦十辰年二月相続仕候渡船渡場ニ而
従来仕来候明和三申年九月ゟ七ケ年之間
引請被成候之通ニ付 御尋ニ付相成候
年季切替當前引請ニ御座候

下札

当所之渡船場渡銭明和元申年ゟ旧七ケ年之
七ケ年相定翌卯年ゟ十一ケ年之間年季請取
又候天明二寅年ゟ十ケ年之間引請候ニ付 御尋
来ル寅年年季之内ニ御座候

下札

右之通御尋ニ付申上候以上

寅

十二月

名主
清水八郎兵衛

同
家持 岩五郎

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

御蔵ゟ上り高之右文句人左ニ有
割返帳面并石数ニ而年入用差引候
以上

酉八月

安居

永代橋渡船上り高
神田川渡船取集高

書上

永代橋渡銭辰年ゟ去ル午年迄三ケ年之間

上り高之義御尋ニ付左ニ申上候

天明四辰年正月ゟ十二月迄

一金七百四拾両余

但銭相場平均壱両ニ六貫文

同五巳年正月ゟ十二月迄

一金五百八拾両余

但銭相場右同断

同六午年正月ゟ十二月迄

一金三百七拾両余

但銭相場壱両ニ六貫百文

右者大川通出水ニ付午七月十三日ゟ渡船仕十六日ゟ

渡来候処同十七日橋中程間流失仕同廿六日ゟ渡

仕同年十二月仮橋出来仕同月廿八日ゟ往来為致候

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98　ガラス使用

月七未年ヨリ之ヲ定ム
一 金壱両ニ付拾六文宛　但銭相場平均壱〆六貫文
月八申年ヨリ之ヲ定ム
一 金壱両ニ付拾五文宛　但銭相場平均壱〆五百文
〆 金弐分壱両九拾文
右渡銭ハ戌年ヨリ享保十一午年迄分度々ノ年季渡銭
借預リ申上、寛延三午年迄分米ヲ以壱両銭之ニ付 御伴
其後々、寛延三年年迄之分渡々借預リ申上、当時弐銭之ニ寄

一 橋詰東西廣小路
商家竝借貸地米等金
此代銭壱年ニヨリ之ヲ定ム
一 渡銭壱貫文
但東西廣小路之渡享保十巳酉年中永代橋
附ニ付下之町ヨリ願出候ニ付商家共ヘ之渡
借預リ申上、右家商家壱両ニ付壱年分之ヲ年ニ
之ヲ取立之銭ニ付上方分用之元禄年中ヨリ

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』 請求記号 806-98
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

一 三百坪　本材木町壱丁目

此坪代壱ヶ年上りニ而

金弐拾両也

内金七八両程　町入用凡五両程

残り金拾壱両程

右之通相違無御座候以上

酉八月

永代橋請負人

深川佐賀町

家持治郎右衛門病気ニ付代

伜 仙次郎

南八丁堀三丁目□□店

七郎右衛門

右掛り

深川佐賀町
名主 忠右衛門

同所相川町
同 新左衛門

同所黒江町
同 助之丞

新大橋渡銭之事
深川渡場渡銭之事
書之

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98
ガラス使用

新大橋渡銭辰年ゟ去申年迄五ヶ年二ヶ月十二日之間

御冥加ニ付左ニ申上候

天明四辰年ゟ迄

一 金三百弐拾両

但銭相場五貫六〆文

同五巳年ゟ迄

一 金三百三拾両

但銭相場五貫五百文

同六午年六月ゟ七月十六日迄

一 金百三拾両

但銭相場五貫六百文

右者大川通出水ニ付当午七月十七日橋流失仕候

天保六未年七月ゟ六ヶ年十二月晦日迄
一 金九拾七両
右ハ猪瀬兵衛代官所船渡之節
但銭相場両ニ六貫文

同七年ゟ迄
一 金弐両　右同断
但銭相場両ニ六貫文

同八申年ゟ迄
一 金三百八拾両
但銭相場両ニ五貫八百文

〆金千四百六拾弐両
内金四百五拾両
渡銭并拾弐人給金
其外諸入用
残金千拾弐両也

右渡銭之儀延享元子年五月四拾弐ヶ年季ニ而渡銭取之
武蔵并下総金之
江戸川右渡之両岸并下総金町地面堤敷ゟ迄
左之通
一 百拾坪余
葭萱法林薪炭場
此地代三ヶ年
金三両程
新右衛門　西原小助

一東廣小路之儀ハ延享元子年五月町揚ケ下置候所右東西
廣小路此ニ而も下置候ニ付寛延二巳年五月深川大渡江
御付替被仰付候右西側東廣小路之町屋ニ而　御付候ニ付
廣小路明地ニ而被下置候ニ付深川大渡欄杭之助成地ニ
相成
御用地ニ相成申候

一千坪
内五百坪揚坪　西者揚場ニ明地ニ
深川橋番所

一弐百坪
内弐拾坪
外ニ八百八拾九坪
此地代壱ケ年ニ付
金百両ハ　[illegible]
内金六拾両
外ニ金八拾両
町入用
[illegible]
東両国[illegible]
同[illegible]所

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

十月

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

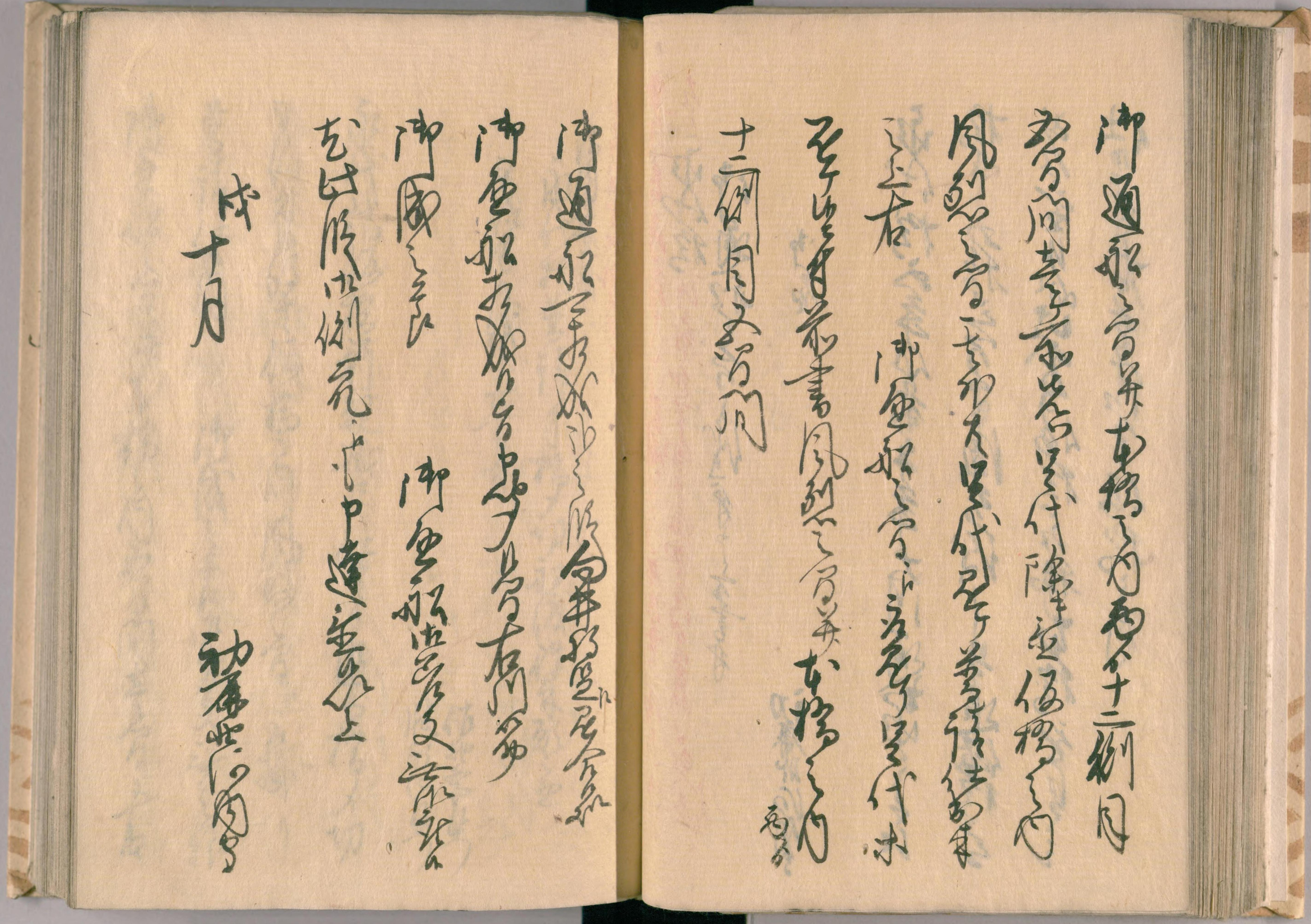
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

深川中町右之者共相手取候切込出訴ニ及候ニ付
吟味之上今般被仰渡候趣ハ、永代渡船渡世之者共
船ニ而是迄渡来候事及、渡船渡世之儀取極候ニ付
双方熟談之上以来一切渡船渡世之儀差止
右之趣被仰渡候ニ付此段申上候
以上

十月廿日

佐野喜兵衛
服部仁兵衛

此十月廿日之儀差上候写也

御月番御奉行所

永代橋際ニ而渡船渡世之儀奉願上候

佐野喜兵衛
服部仁兵衛

永代橋前渡船渡世之義ニ付
恐乍以書付奉願上候
永代橋際ニ而渡船渡世仕度候

且又武家方者是迄之通橋銭不取其外浪人医師之分
並ニ寺社道具渡方之分ハ御免之者共ハ渡銭
取立候様可相成候ニ付右者承知
候様相心得候様可申渡旨被仰渡奉承知候
依之申上候以上

戌十月

佐野寄人
腰越仁左衛門

此度永代橋渡銭之儀ニ付申上

江関奉御掛
永代橋渡銭之儀ニ付申上候書付
御番所

佐野幸之助
腰越仁左衛門

永代橋渡銭武士方并浪人・僧侶・神職
寺社方并町人迄壱人前渡銭相違無之ニ付
右日数相変り候ニ付町人壱人
渡ニ付壱人前諸色之儀ニ付無之町人

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

寛政四年

永代橋
新大橋
大川橋

天明二寅年ゟ寛政三亥年迄十ヶ年
手附渡海記之写并勤方同人書上 写

子四月写之

清水和

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』 請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

右ニ申上候

天明二寅年ゟ十ケ年取立高

一金六百五拾四両ト銀七匁六分八厘

一同三卯年同断

一金六百四拾両三分銀二匁八分弐厘

一同四辰年同断

一金六百四拾四両弐分銀拾匁七厘

一同五巳年同断

一金五百七拾六両銀八匁八厘

同六午年同断

一金三百七拾三両弐分銀拾四匁七分六厘

一同七未年同断

一金六百四拾弐両三分銀七匁六厘

一同八申年同断

一金五百七拾七両銀四匁二分

寛政元酉年同断

一金六百八拾六両銀拾三匁八厘

一同二戌年同断

一金五百弐両三分銀二匁七分

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』 請求記号 806-98

ガラス使用

日三貫弐百目ツゝ
一 金弐百四拾弐両弐分銀拾七匁
　　但橋銭並ニ船渡銭揚り高より

十ケ年分凡見当
金弐千七百六拾弐両弐分銀弐匁

下ケ札
右金高之儀天明年中ハ諸式高値
下直ニ而土地ニ橋銭並ニ船
渡賃ニ而ハ入用相掛り候ニ付見当
不足ニ成候

天明二寅年
一 金百九拾弐両弐分銀三匁弐分
　　橋渡入用金
一 金三百九拾七両三分銀拾四匁五分
　　備金ニ而相渡
　　但外
〆金五百九拾弐両弐分銀弐匁

十ケ年平均
金弐百七拾弐両銀
　　銀ニ而相渡ス

一 同三卯年
一 金百九拾三両三分拾壱匁壱分五厘
橋御渡入用
一 金四百拾七両拾三匁三分
備用金返金并利銀
元利返入用同断
〆金六百拾壱両銀九匁九分五厘

一 同四辰年
一 金百四拾八両銀弐匁壱分
橋御渡并当番
御普請入用
一 金四百八拾壱両銀拾四匁三分七厘
備用金利銀
返金諸入用同断
〆金七百弐拾九両三分壱匁七分

一 同五巳年
一 金弐百四両三分拾壱匁
橋御渡入用
一 金三百四両弐分拾壱匁弐分
備用金返金并
利足二口諸入用同断
〆金五百九両弐分七匁弐分

一 同六午年
一 金七拾両三分弐匁
橋御渡并当番
新規諸入用
一 金三百七拾三両三分三匁弐分
流失ニ付橋拾三百年
橋新規掛替入用

一　金三百弐拾壱両弐分七匁七分三厘

〆　金七百六拾三両弐分銀拾三匁弐分五厘

借用金返金并利足
三分済入用差引

同七未年

一　金百四拾四両弐分銀七匁三分七厘

一　金四百六拾六両弐分銀六匁三分壱厘

〆　金六百八拾三両三分三匁五分五厘

橋修復入用

借用金返金并利足
元利済入用差引

同八申年

一　金百九拾八両銀六匁七分

一　金四百六拾三両三分三匁弐分五厘

〆　金六百弐拾九両三分四匁五分五厘

橋修復入用

借用返金并利足
元利済入用差引

寛政元酉年

一　金弐百六拾四両三分銀拾四匁三分

一　金四百四拾六両三分銀三匁

橋修復入用

借用金并利足元利
済入用差引

〆金七百九拾両弐分銀拾四匁八分

一同　庚戌年

一金壱百三拾四両弐分銀三匁五分　橋御渡入用

一金壱百拾九両三分銀八匁弐厘
橋長七拾二間半
新規掛替
新規修復入用

一金四百弐拾四両銀三匁六分
借用出金元利
諸入用

〆金七百四拾九両三分銀拾三匁三分七厘

一同三癸亥年

一金弐拾四両銀三匁五分七厘
橋杭積
修橋
新規修復入用

一金壱百拾五両三分銀三匁四分
借用出金元利
修復入用

〆金壱百三拾四両三分銀七匁三分七厘

十ヶ年分合

金弐千七百六拾五両三分銀弐匁

金二千百六拾三両弐分銀弐匁五分　年貢諸金

金八千弐百拾九両二分　天保元寅年中分　備用返金

金二千弐拾七両二分銀拾壱匁五分　利足金共　諸入用

小以

金七千二百九拾両銀拾四匁七分七厘

右二口差引不足

金千六百弐拾四両二分銀拾四匁九分弐厘

下ケ札

下ケ札

右不足千六百弐拾四両弐分銀拾四匁九分弐厘之内金
弐分銀拾四匁九分弐厘ハ此分利足ニ当、備用金之内
備用御手当金五拾両、備用金当御備金之分差引
六千弐百弐拾四両二分銀拾四匁九分弐厘
五ヶ所渡し之分

諸入用訳書

一　備用金利足并借財元金利足諸入用

一　出火之節定抱臨時被下金

一　出火出水防船御年貢取立諸入用　出水之節諸入用

一 外〻橋杭締方之雇船之入用

一 火防之諸道具新規修復

一 水防之縄并外細諸道具等之

一 出水之節橋之前後ニ附ル橋杭鉢代

一 平橋并仮橋ヲ造リ足并普請之度之土砂留杭等

之節普請方之者并大工人足等ニ遣ス扶持入用

一 度々川倒者検使之節通身投等之類入用

一 大普請之節之増番人賃銭

一 水溜桶挑灯油蝋燭炭薪

一 橋流失之時川中ニ有之候石杭木枝等候ハヽ締并廻船

人足賃銭并道具入用

一 神事初尾

一 當川渡船金入用

一 筆墨紙

右之通御座候以上

寛政四子年三月

取締掛り

深川中島町
名主忠太郎

同所大島町
同 市兵衛

同所平野町
同 甚四郎

同所佐賀町
同 茂太郎

同所熊井町
同 理九郎

同所富吉町
同 仙之丞

同所相川町
同 新三郎

同所永代寺門前仲町
同 傳次
後見
理九郎

新大橋渡銭上ヶ高之手続勘定書上

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

一 金九両

一 金九拾両

三口〆 金三百四拾九両三歩

并金百拾両三分

明和三戌年橋新規掛替
之節出来借用返済不足
去辰三百五拾両ニ而年より利足

去丑年大川通満水ニ而橋
四拾間余流失依之掛継
修復借用金六百両之利足

橋積金ニ成

天明三卯年より同年迄
一 銭四百六拾五貫文
此金五百四拾両

内

一 金百弐拾両

一 金九両

一 金九拾両

右之通文年借

橋渡船新造ニ付不足
之分新調

明和四申年三月より
金利足

去年より両替借用金之
利足

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

一金九両
明和四亥年十二月迄利足

一金九拾両
丑年十二月迄利金

ヲ

金千弐百拾四両

并金八百拾八両
新借成

天明八申年ヨリ子年迄五ヶ年

一銭弐千七百拾貫文

并金四百弐拾両弐分
八分余

右ハ毎年弐分ツヽ年納

ワ

一金四百弐拾三両
橋本町ニ而掛屋敷
拾両ツヽ御頭様ニ而年々上納

一金九両
明和四亥年十二月迄利足

一金九拾両
丑年十二月迄利足

一金弐拾両
午年より橋本屋
四両五分借用金利足

〆金六百両

外ニ金三百廿九両三分三朱 不足
新借ニ成

寛政元酉年ゟ同十二年迄

一 弐千弐百拾弐貫目文

此金三百弐拾三両ト永六百文四分 五貫三百文 三匁

内

一 金七拾弐両弐分 渡辺氏預金千両預ケ置
一 金九両 明和四辰年金三百両利足
一 金弐拾七 丑年金六百両之利足
一 金弐拾五 午年四百両之利足
一 金拾五両 申年百両之利金

〆金弐百三拾六両弐分

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98　　ガラス使用

寛政四子年正月

新大橋請負人
吉四郎

同
大黒屋九郎兵衛

外
[illegible]

下ケ札

一金三百両　明和三戌年新大橋掛替之節借用金
追々相済候残金

一金六百両　天明元丑年出水ニ而橋流失掛継ニ付拝借金
借用金

一金四百五両　同六午年出水ニ而橋流失掛継ニ付借用

一金　百五両　同申年大川橋掛替借用

右之金[illegible]

大川橋渡銭書上

大川橋之儀ハ永々御請負仕候ニ付為冥加年々金
弐拾五両宛当　御書付様江上納仕度段十ケ年
三百両書上候儀　但御年貢之儀ハ右ニ上候

寅年より十ケ年上り高
一　銭弐千七百六拾六貫弐百五拾文
　　此金三百弐拾五両弐朱ト銭五拾文

卯年より十ケ年上り高
一　銭弐千四百九拾四貫九百弐拾四文
　　此金弐百七拾五両三分弐朱ト銭三百四拾六文

一 辰年ゟ三ヶ年上り高
残高七百拾九貫弐百文
代金二百拾弐両弐分弐朱ト 永百弐拾文

一 巳年ゟ三ヶ年上り高
残高七百拾四貫四百八拾五文
代金二百拾弐両弐分弐朱ト 残四百弐拾六文

午年ゟ三ヶ年上り高
一 残高弐千弐拾貫二百八拾六文
代金三百六拾七両三分弐朱ト 残三百七拾弐文

未年ゟ三ヶ年上り高
一 残高八百六拾七貫四百弐拾四文
代金二百三拾七両弐分弐朱ト 残百八拾文

一 申年上り高三ヶ年
残高八百七拾四貫三百文
代金二百四拾両三分ト 残百七拾弐文

一 酉年ゟ三ヶ年上り高
残高八百七拾八貫四拾八文
代金二百七拾七両三分ト 残四百弐拾四文

一 戌年ゟ三ヶ年上り高
残高九百九拾四貫九百四拾八文

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』 請求記号 806-98
ガラス使用

此金弐百六拾弐両弐分弐朱ト銭弐百四拾弐文
亥年ゟ未年迄ニ而
一 銭千九百拾弐貫九百七拾弐文
此金三百四拾七両三分ト銭三百四拾八文
十ヶ年請ニ而
〆銭弐万八千四百四拾貫三百六拾四文
此金三千三百六拾弐両弐分
銭三貫三拾文
但本場所年貢永弐百文年々相納

内
一 金四百両也　卯年修復金
一 金弐百拾両也　午年修復金
一 金百七拾四両也　戌年修復金
一 金拾九両也　亥年仮修復
一 金拾弐両也
寅年ゟ亥年迄十ヶ年之間
入用　橋番地所之分ニ而

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『永代渡船』　請求記号 806-98

ガラス使用